

セーフコミュニティ かめおか



けがや事故を予防しよう

Vol.34 令和元年11月号

セーフコミュニティとは

セーフコミュニティ(SC)とは、WHO(世界保健機関)が推奨する「けがや事故などは偶然の結果ではなく、予防することができる」という理念に基づいて、体系だった方法によって、地域社会全体が協働で安全安心に取り組んでいるコミュニティのことで、亀岡市は国内で初めてSCの認証を取得しました。

亀岡市では、市内で発生しているけがや事故の現状及び課題などから、自殺対策、高齢者の安全対策、交通安全対策、防犯、スポーツの安全対策、乳幼児の安全対策の6つの対策委員会を設置し、市民の皆さんとともに安全・安心なまちづくりを進めています。

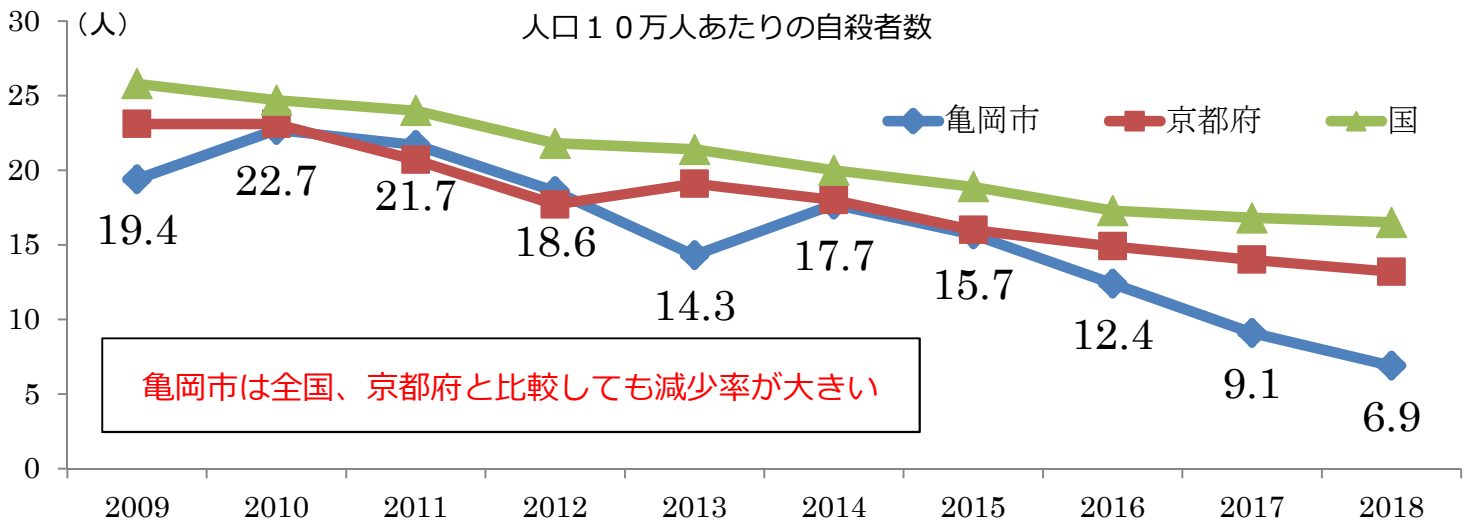
外傷による死亡理由で最も多いのは・・・「自殺」です

亀岡市では以前、悩み事は誰に相談しているのかを尋ねるアンケートを実施しました。結果としては、家族や知人に相談する人が最も多いという結果が出ている一方で、誰にも相談していない人も多くいることがわかりました。

一人では解決できないことも、誰かに相談することで解決の糸口が見つかることもあります。

悩みによって心に異変があると感じたら、市役所や相談機関に気軽に相談してください。

- 亀岡市健康福祉部地域福祉課 (0771)25-5029
- よりそいホットライン (0120)279-338
- 京都府自殺ストップセンター (0570)783-797
- こころの相談電話 (075)645-5155



出典：自殺統計



【自殺対策強化月間(3月)における街頭啓発活動】

亀岡市の自殺者数(10万人あたり)は、2009年と比較し、**約64%減少**しています。

市の自殺対策委員会では、街頭啓発やゲートキーパー養成研修等を実施し、相談しやすい環境づくりを進めることで、自殺の防止に取り組んでいます。

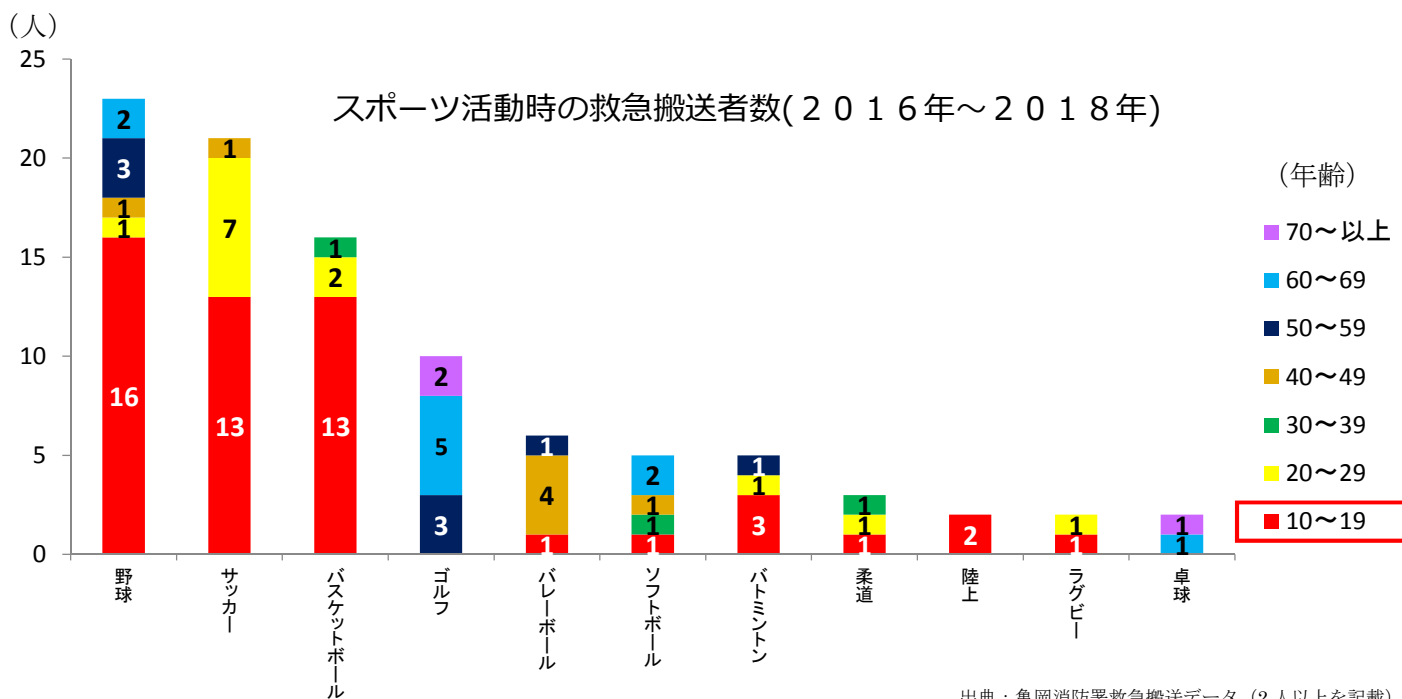
クラブ活動中のケガを減らすために

京都サンガF.C.トレーナーによる外傷予防講習会を実施

亀岡市では、スポーツ活動時に救急車で搬送された人は10歳代(特に中学生)が最も多く、特に野球やサッカー、バスケットボール競技中に多くなっています。

このため、セーフコミュニティの取組としてスポーツの安全対策委員会では、中学生のサッカークラブ活動中の外傷を予防するため、京都サンガ F. C. 育成部アスレティックトレーナーの仲下将裕さんによる講習会を大成中学校で開催しました。

仲下トレーナーからは、亀岡市内の3中学校のサッカー部員約50人及び指導者を対象に、京都サンガF.C.で行われているストレッチやトレーニング方法を指導いただきました。



ドライブレコーダーを持っている方は

ぜひ登録を！！

亀岡市では、市民のみなさんが自家用車に設置している“ドライブレコーダー”を活用した市民参加型の防犯活動を進めています。

右のマークのマグネット又はステッカーを車に貼って走行することで、かんたんにまちの見守りができるボランティア活動です。

ドライブレコーダーをお持ちの方は、ぜひ登録をお願いします。

※事件などがあったときには警察署への映像提供をお願いすることがあります。

スマートフォンから簡単に申請できます！

